「アルメニア国立体育大学柔道・空手道場改修計画」完了式典

2026 年 10 月 30 日、草の根文化無償資金協力の枠組みによる「アルメニア国立体育大学柔道・空手道場改修計画」の完了式典が、アルメニア国立体育大学において開催されました。

式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、アルマン・アンドリキャン・アルメニア共和国教育・科学・文化・スポーツ大臣顧問、ティグラン・シモニャン・アルメニア国立体育大学長のほか、同研究所幹部、学生及び招待客が出席しました。

日本政府は、柔道・空手道場の改修及び設備整備のため、上限 91,088 米ドルの日本の無償資金協力を供与しました。改修により、道場の面積が拡大し、改善された環境の下で、より多くの人々が柔道・空手道場で訓練を受けることが可能となります。

式典は、青木大使及びシモニャン学長によるテープカットで始まり、改修された道場の正式な開所を記念、続いて、柔道及び空手の選手による演武が行われ、その技術と規律が披露されました。

演武に続き、シモニャン学長及び青木大使が祝辞を述べました。

シモニャン学長は、新しい道場により、教育課程をより効果的に実施することが可能になると述べました。また、本式典はアルメニアと日本を結ぶ教育上の架け橋となるだけでなく、相互の関心及び協力の発展にも寄与するものであると強調しました。

青木大使は、日本語では柔道や空手を行う場所を「道場」と呼ぶことを紹介しました。「道場」という言葉は、「道」と「場」の二つから構成され、そこは武道の技術を学ぶだけの場所ではなく、身体的にも精神的にも成長する場所です。青木大使は、この「道場」が両国を結ぶ新たな架け橋となり、今後の両国の友好関係の強化に貢献することへの期待を表明しました。



道場入り口にて（左からアンドリキャン顧問、青木大使、シモニャン学長）



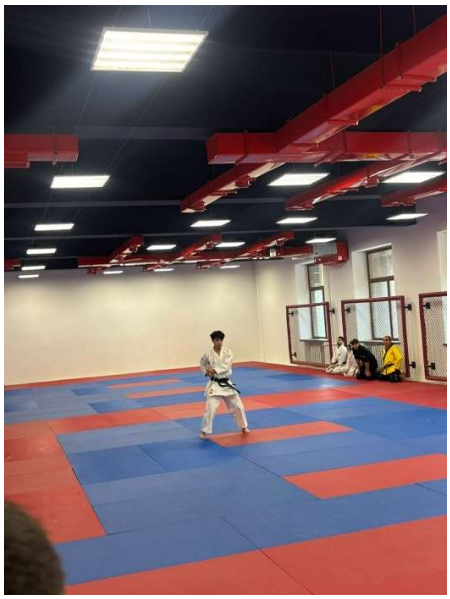
柔道・空手選手との記念撮影



演武



青木大使と選手達



空手演武



青木大使とシモニャン学長